

和歌山縣報

第八百七十號

明治四十二年四月二十一日

○縣令

○和歌山縣令第二十一號

市町村立小學校教員住宅費補助規則左ノ通相定ム

明治四十二年四月二十一日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

第一條 市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ニ於テ市町村立小學校教員ノ住宅ヲ建設シ又ハ教員ニ住宅料ヲ給與シ若ハ教員ニ住宅ヲ供給スル爲賃借料ヲ支拂フトキハ本規則ニ依リ其ノ經費ヲ補助ス

第二條 補助スヘキ教員住宅ハ左ノ各號ニ該當スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アリト認ムルモノハ此ノ限ニアラス

一、當該小學校々地内又ハ其ノ附近ニ建設スルモノ

二、校舍其ノ他ノ建造物ト別棟トシ且相當ノ設備ヲ爲スモノ

三、相當ノ菜園ヲ附設スルモノ

第三條 補助金額ノ步合左ノ如シ

一、單級學校及僻陬學校教員住宅ハ建設費決算額ノ十分ノ四以内

二、其ノ他ノ小學校教員住宅ハ建設費決算額ノ十分ノ三以内

三、教員住宅料賃借料ハ壹箇年支出額ノ十分ノ二以内

住宅費ノ支出決算額豫算額ニ超過スルトキ、補助ノ指令ヲ受ケタル後ニ於テ豫算額ヲ増加シタルトキ、住宅一戸ニ付建設費六百圓住宅料又ハ賃借料一人ニ付三圓ヲ超過スルトキハ其ノ超過額又ハ増加額ニ對シテハ補助金ヲ交付セス

第四條 市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ニ於テ教員住宅費ノ補助ヲ受ケントスルトキハ住宅建設ニ就キテハ第一號乃至第五號住宅料賃借料ニ就キテハ第四號第六號ノ事項ヲ具シ毎年四月三十日限り知事ニ申請スヘシ

一、位置圖

字、地番、學校トノ距離、周圍ノ關係ヲ記載スヘシ

二、敷地及建物平面圖

敷地ノ坪數、菜園ノ所在、住宅各室ノ名稱、坪數等ヲ記載スヘシ

三、建設費細目

新築改築ノ場合ハ敷地ノ購入費又ハ賃借料、土工費、建築費、雜費等ニ區別シ既設ノ家屋ヲ購入シテ住宅ニ充ツル場合ハ家屋購入費ヲ記載スヘシ

四、當該年度歲入歲出豫算書

五、工事着手及竣工年月
(既設ノ家屋ヲ購入シテ直ニ教員住宅ニ充ツル場
合ハ購入年月、使用ノ開始期ヲ記載スルコト)

六、住宅料給與金額並其ノ支給方法又ハ賃借料支拂金額並其ノ契約書寫

第五條 前條ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度知事ニ届出ヘシ但シ補助ノ指令ヲ受ケタル

後ニ於テ第一號第二號及第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 補助ノ指令ヲ受ケタル教員住宅ノ設備竣成シタルトキハ建設費決算書ヲ作り知事ニ届出
ヘシ

決算書ハ建設費細目ニ依リ豫算額ニ對照シテ比較増減並其ノ理由ヲ明ニスヘシ

第七條 補助ノ指令ヲ受ケ住宅料ヲ支給セ又ハ賃借料ヲ支拂ヒタルトキハ其ノ年度ニ屬スル支拂

ノ明細書ヲ作り三月末日限り知事ニ届出ヘシ

第八條 補助金交付ノ時期左ノ如シ

一、住宅建設費ニ就キテハ設備竣成ノ検査ヲ了シタル後

二、住宅料、賃借料ニ就キテハ翌年四月

第九條 補助ノ指令ヲ受ケタル教員住宅ニシテ妄リニ其設備ヲ變更シ又ハ完成セス若ハ住宅料賃

借料ノ支出ヲ減額シ又ハ之ヲ止メタルトキハ補助金ヲ減額シ又ハ指令ヲ取消スコトアルヘシ

第十條 補助ヲ受ケテ建設シタル教員住宅ヲ改築若ハ他ニ轉用シ又ハ其ノ使用ヲ止メントスルト

キハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 補助ヲ受ケテ建設シタル教員住宅ニ對シテハ使用料修繕費等ヲ徴收スルコトヲ得ス

第十二條 前二條ニ違背シタルトキハ補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ第十條

ニ依リ轉用ヲ爲シ又ハ使用ヲ止ムリ場合亦同シ

第十三條 本令ニ依リ提出スヘキ文書ハ郡長ヲ經由スヘシ

附 則

本令ニ依リ明治四十二年度ニ於テ補助ヲ受ケントスルトキハ六月三十日限り第四條ノ手續ヲ爲スヘシ

○告示

○和歌山縣告示第百十六號

左記ノ者小學校教員無試驗檢定ニ依リ頭書ノ教員免許狀ヲ授與シタリ

明治四十二年四月二十一日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

記

高知縣平民

小學校本科正教員

竹谷直彌

明治十七年十二月生

○和歌山縣告示第百十七號

明治四十二年六月四日ヨリ小學校教員試驗檢定ヲ施行ス當期ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ條項ヲ承知シ來ル五月十日限當廳ニ到着スヘキ豫定ヲ以テ成規ノ願書及受験地届ヲ差出スヘシ但シ既ニ檢定願書ヲ差出シタル者ハ本文期日マテニ受験地届ヲ差出スヘシ

明治四十二年四月二十一日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

記

一 試験スヘキ教員ノ種類

小學校本科正教員

尋常小學校本科正教員

小學校專科正教員

小學校准教員

尋常小學校准教員

二、試驗場所

和歌山市 師範學校內

西牟婁郡田邊町 田邊中學校內

東牟婁郡新宮町 新宮中學校內

但シ小學校本科正教員志願者ノ試驗及小學校專科正教員ノ音樂科英語科志願者ノ試驗ハ師範學校內ニ於テ之ヲ行フ

三、試驗日及時間割

月 日	時間割	科目
六月四日(金)	自午前八時 至全十時	國語文法、作文
	自午前十時 至正午	國語 同上
	自午后一時 至全三時	國語 講讀
	自午后三時 至全五時	國語 習字
同日(土)		教育、教育學
		教育教授法
		教育 教育史、 心理學、 論理學、
		教育管理法

月 日	時間 割	尋常小學校本科正教員ノ部						
		同 十三日 (月)	同 十二日 (土)	同 十一日 (金)	同 十日 (木)	同 九日 (水)	同 八日 (火)	同 七日 (月)
至 同 午前 十時	至 同 午前 十時	至 同 午前 十時	至 同 午前 十時	至 同 午後 一時	至 同 午後 三時	至 同 午後 五時	至 同 午後 五時	
法濟及經濟 限ル <small>男子ニ</small>	家事 家政	博物 植物	物理	數學 代數	地理 日本地理	修身		
裁縫	圖畫	博物 礦物	化學	數學 幾何	地理 外國地理	歷史 日本史		
裁縫	圖畫	博物 生理	博物 動物	數學 算術	地理 地文	歷史 外國史		
裁縫	圖畫	音樂	體操		數學 <small>簿記男子 ニ限ル</small>	漢文		

月 日		時間割		小學校專科正教員ノ部			
六月四日(金)	國語 文法作文	同上	國語 講讀	國語 習字			
同 五日(土)	修身	教育教育學	教育教授法	教育管理法			
同 七日(月)	地理 <small>日本地理 及外國地 理大要</small>	歷史 日本史	算術	圖畫			
同 八日(火)	理科	同上	體操				
同 九日(水)	裁縫	同上					
自午前八時 至同十時		自午前十時 至正午		自午后一時 至同三時			
六月四日(金)	教授法 <small>裁縫受驗者ニ限ル</small>	裁縫	積方	裁縫	裁方		
同 五日(土)	教育ノ大要 <small>裁縫受驗者ニ限ル</small>	裁縫	縫方	裁縫	縫方		

同 七日 (月)

教育ノ大要

下欄受
驗者ニ
限ル

圖畫、音樂、英語、
手工、農業、商業、
體操

教授法

上欄受
驗者ニ
限ル

小學校准教員、尋常小學校准教員ノ部

月 日 時間割

自午前八時
至同十時

自午前十時
至正午

自午后一時
至同三時

六月 四日 (金)

國語 作文

國語 講讀

國語 習字

同 五日 (土)

修身

教育 教授法

體操

同 七日 (月)

地理 日本地理及
外國地理ノ
大要

歴史

算術

同 八日 (火)

理科

裁縫 小准女子ニ
限ル

裁縫 小准女子ニ
限ル

○通牒照會

○通 牒

○内五第二三三〇號

明治四十二年四月二十一日

郡市長殿
町村役場御中

内務部長 相 頁 步

桑園霜害豫防ニ關スル件左記通牒候也

一、本邦ニ於テ蠶糸業ノ改善發達ヲ圖ルノ國家經濟並ニ產業界ニ且個人經濟上ニ緊切ナルハ勿論ニ有之斯業發達ノ方法ニ付テハ從來夫々畫策御盡力相成居候處之カ根蒂タル蠶兒唯一ノ飼料タル桑葉ニシテ供給ノ難行ヲ得ルト云フハ當銘國桑界ニ大影響ヲ及シ實ニ之カ死命ヲ制スルモノト云フヲ得ヘク候時將ニ桑葉發芽ノ期ニ際シ居候處不時ニ氣象ノ激變其ノ他ノ爲會々降霜ヲ見ルノ場合往々ニシテ有之爲ニ桑葉ノ蒙ル損害實ニ多大ニシテ其ノ年ノ蠶業ヲ含クノ止ムヲ得サルノミナラス斯業發達ノ氣運ヲ中道ニシテ挫折セシムルコト可有之候是等ニ對シテハ從來夫々除害ノ方法等指導誘掖相成居候儀ト被存候得共本年ノ如キ氣候適順ヲ失スル虞アル場合ニ於テハ尙一層御注意相成御部内耕作者ヲシテ是等ノ損害ヲ未然ニ防遏セシメ候様精々御取計相成度

一、右霜害豫防ニ關シ燻煙ハ最モ有効ト認ムルニ依リ其ノ實行上便宜ナリト認ムル方法左記及紹介候

(イ)燻煙ノ方法

松木薪十數本ト古菰又ハ古筵竝錐屑數斗ヲ豫メ桑園適當ノ箇所ニ準備シ置キ降霜ノ兆アルトキ右薪ニ火ヲ点シ古菰類チ其ノ上ニ蔽ヒ(一方僅ニ小口ヲ開キ置クコト)之ニ錐屑ヲ捺ヒ置クコト但シ燻煙ヲ爲スハ地熱ノ放散ヲ防キ以テ結霜ナカラシムルモノナルニヨリ可成桑園面ヲ煙ノ布掩スル様注意ヲ要ス

右ノ燻煙方法ニヨレハ僅少ノ經費ヲ以テ而モ簡易ニ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得

一、本縣測候所チシテ自今桑葉發芽期間ニ於テ降霜ノ兆アル場合ハ各郡役所ヘ直ニ電報ヲ以テ通知セシムヘク候條豫メ地方ノ狀況ニ照シ郡役所ヨリ各町村ヘ警戒通知ヲナスノ手續等相當方法御措置置相成度

一、御部内町村中郡役所所在地ヨリ遠隔ノ爲メ郡役所ヨリ發スル降霜通知ノ遲延スル慮アル町村ニシテ直接電信ノ發受ヲ爲シ得ル地方ニ於テ直接測候所ヨリ電報通知ヲ受ケントスルモノニハ左記ニヨリ通知セシムル筈ニ有之候條此ノ旨御含ノ上可然御取計相成度

一、一町村以上ヲ地區トシテ次號ノ霜害豫防規程ニ準據シタル規定ヲ設ケ之ヲ實行スルモノ又ハ產業組合ニ於テ豫防ヲ實行セントスルモノタルコト

二、電報通知ヲ受ケントスルモノハ其ノ通知ヲ受クルチ必要トスル期間(何月何旬ヨリ何月何旬マテ)ヲ定メ豫メ其ノ通知ヲ本縣測候所ニ請求スルコト

一、霜害豫防ノ爲ニ設定シ適當ナリト認ムル規定爲御參考申進候

左記

何郡(村)霜害豫防規程

第一條 桑樹ニ霜害ノ虞アル時ハ測候所ノ豫防ニ基キ郡役所ヨリ何村役場ニハ電報其ノ他ノ町村

役場ニハ直夫ニテ之ヲ通知ス但シ何々村何々村役場ハ何々村役場(電報通知ノ村)ヨリ直夫ニ
テ通知スベシ

第二條 降霜ノ際燻煙ヲナサシムル爲桑園ヲ所有シ又ハ耕作スル者ヲシテ豫メ燃料ヲ準備セシメ
之ヲ檢査ヲ爲シ置クベシ

第三條 第一條ノ通知ヲ受ケタルトキ又ハ午後十二時ニ至リ華氏寒暖計四十度以下ニ降り降霜ノ
虞アルトキハ桑園ヲ所有シ又ハ耕作スルモノハ半鐘又ハ番木ヲ打鳴シ若ハ別ニ定メタル通信法
ニヨリ普ク之ヲ急報シ急速ニ桑園ニ出場セシムベシ

第四條 町村役場員及區長農事督勵委員ハ現場ニ臨ミ燻煙實施ノ指揮監督ヲ爲スベシ
右

○ 辭 令

○明治四十二年四月十六日

任和歌山縣立粉河中學校教諭

給八級俸

大阪府立堺中學校教諭

小池與三郎

○明治四十二年四月十七日

任和歌山縣師範學校教諭

給六級俸

新潟縣立卷中學校教諭

小和田維徳

八級俸下賜

和歌山縣立粉河中學校長

吉村源之助

九級俸下賜

和歌山縣立和歌山高等女學校長

園部 倭

給五級俸

和歌山縣視學

須藤 丑彦

給六級俸

和歌山縣東牟婁郡視學

久保 嘉七

給六級俸

和歌山縣西牟婁郡視學

村上 準

○明治四十二年四月十四日

兼任和歌山縣師範學校訓導

和歌山縣師範學校教諭

竹谷 直彌

○明治四十二年四月八日(京都府)

任京都府立第二中學校教諭

和歌山縣師範學校助教諭兼書記

吉田 重紀

給十級俸

○明治四十二年四月十九日

十級俸(當分年俸七百六十圓)下賜 和歌山縣立和歌山高等女學校教諭

石川 弘

給九級俸(當分月俸參拾參圓) 和歌山縣立和歌山高等女學校教諭

萩野 閑

給四級俸(當分月俸參拾參圓) 和歌山縣立和歌山高等女學校助教諭

辻橋重太郎

給月俸拾九圓 和歌山縣立和歌山高等女學校書記

小野雅雄

月俸拾五圓給與 和歌山縣立和歌山高等女學校書記心得

內田泰治

○明治四十二年四月十三日(佐賀縣)

休職和歌山縣立田邊中學校教諭

吉村茂三郎

佐賀縣北鹿島村外四箇村學校組合立鹿島高等女學校教諭ニ任ス

給七級俸

○町村吏員ノ異動

○明治四十二年四月十九日認可

海草郡巽村有給助役

田中平吉

日高郡船着村有給村長

細尾惣右衛門

○明治四十二年四月二十日認可

那智郡名手村長

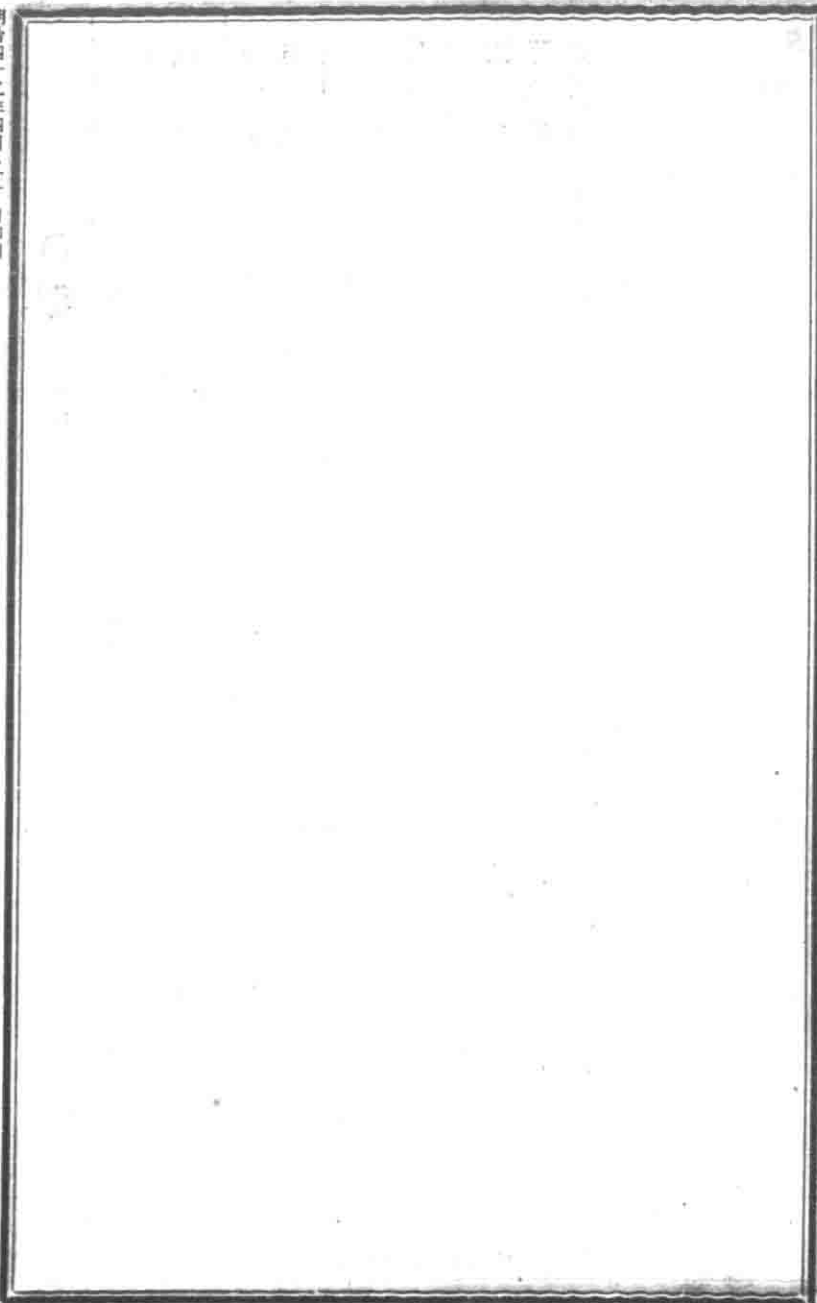
堀 鳥之助

○觀象

自四月十六日至十八日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	四月十六日		四月十七日		四月十八日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗〇	七六五耗二	七五九耗五	七六六耗三	七六一耗三	七六四耗四
平均氣溫	九度六	九度三	一三度一	一三度一	一二度五	一五度二
最高氣溫	一大度三	一五度三	二〇度七	一九度六	一八度七	一九度八
最低氣溫	四度三	四度〇	七度二	五度九	六度三	九度六
最多風向	北西	北	北	西	北東	南西
平均風力	二米一	四米九	二米六	二米八	三米一	三米四
天氣	曇	晴	晴	半晴	晴	晴
降水量						
記事現象	晝間日暈アリ夜間月環ヲ映ス		午後五時五十分沿海警報到着	午前日暈ヲ映ス	午前十一時十三分沿海警戒ヲ解除ス	



明治四十二年四月二十一日印刷

明治四十二年四月二十一日發行

(每月三日六日九日十二日十五日、八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印刷
和歌山市北休賀町六番地